



でん し けい そく き  
電子計測器  
かい はつ せい ぞう  
開発・製造

# いろいろな計測器を作って はかる技術で社会を支える会社です。

かぶ しき がい しゃ  
アンリツ株式会社

所在地/厚木市恩名5-1-1 <https://www.anritsu.com/ja-jp>  
創業/1895(明治28)年 従業員数/4,083名(連結)(2024年3月31日現在)



もっと、くわしく  
みてみよう!

## わたしの仕事 私たちの仕事

私たちは、新しい技術をいち早く取り入れて、社会の発展に貢献している会社です。たとえば、情報を早く確実に伝えるために必要な機械や仕組みを作っています。今から100年以上前の1895年に生まれた会社で、それからずっと、みなさんの生活がもっと便利になるように頑張っています。また2021年には、障がいのある人が働く石けん製造の子会社(ハピスマ)をつくり、いろいろな種類の石けんを一つずつ手作りで生産しています。



▲本社

## ? はかる技術ってなに?

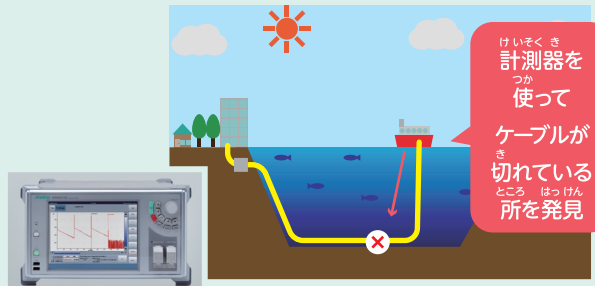


私たちは計測というはかる技術で、社会を支えています。たとえば、世界中の人たちとやり取りするインターネットがいつでも使えるように、たくさんの情報を送る通信の線(光ケーブル)が切れていないかを見つける技術を開発して、情報の安全を守っています。



## かい てい み 海底のトラブルも見つけることができるんだって!

海の下にある通信用の光海底ケーブルは、世界中の国々につながっていて、すべてをつなげると地球を約30周する長さになります。この光海底ケーブルが、漁業活動や、地震や台風などの自然災害で切断されてしまうことがあります。私たちの計測器は光海底ケーブルの切断された部分を特定して、通信をいち早く回復させるための作業に役立っています。



▲切断ポイントを捉える計測器

▲船上や陸上から海底のトラブルを発見します

## ? しん さい し えん 震災支援をしているってほんとう?



2011年の東日本大震災があった時、多くの場所で光ケーブルが切れてしまい、被災地と連絡が取れなくなりました。その時、私たちが作った光ケーブルを検査する計測器を、被災地で通信設備の復旧工事を行う企業に無償で貸し出し、一日も早い復旧を祈りながら、使ってもらいました。それ以降も大きな地震で通信設備が壊れた時に、支援を行っています。



▲震災時に貸し出された計測器



## ここに注目!! こんな取り組みもしているよ!

私たちは、障がいのある人が働くハピスマという会社をつくって石けんを製造・販売しています。ハピスマの名前の由来は、ハッピー&スマイル。その名の通り一緒に働くメンバーが「まっこり」と「にこやかに」働ける場所をつくりたい。そんな思いを社名に込めました。メンバーそれぞれの強みをいかながらアイデアを出し合って、一つひとつ手作りで石けんを作っています。



すべて手作業で作っています



みんなが笑顔になるように思いを込めています

## はたら ひと こえ 働く人の声



しょうひんかい ほうたんとう  
商品開発担当  
いの うえ  
井上 さん



かぶしき がいしゃ  
株式会社ハピスマ  
せいぞう ぶちやう  
製造部長  
ほり うち  
堀内 さん

私は、光ファイバーに問題がないか検査をする計測器の開発を行っています。光ファイバーに問題があると、最悪の場合は非常に多くの人々の通信が繋がらなくなってしまうので、計測器はとても重要です。社会に貢献できるやりがいのある仕事だと思っています。

個性を持ったメンバーひとりひとりが心を込めてつくるカラフルな石けんからは、穏やかな香りが広がります。石けんを受け取ったお客さまも、そのかわいらしさにハッピー&スマイル。私たちの石けん、一人でも多くの人を幸せな笑顔にしたいと思っています。